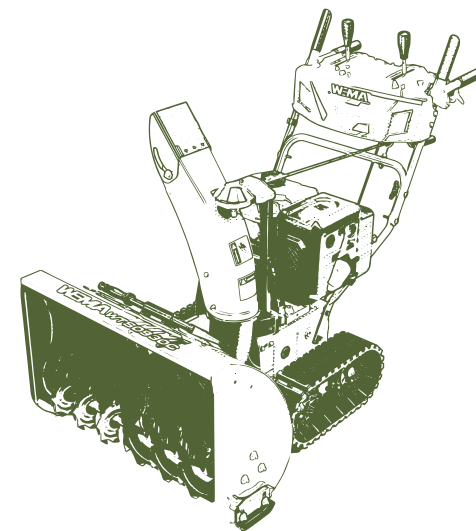




株式会社 唐沢農機サービス
ノウキナビ事業部

〒389-0518 長野県東御市本海野1642
TEL. 0120-555-071(平日 9:00-17:00)
FAX. 0268-63-7085
E-MAIL. info@noukinavi.com

 **NOUKINAVI+**



***OWNER'S
MANUAL***
WTS0930C
SERIES
SNOW BLOWER



警告

- 使用者や販売店が独自に機械を改造することは禁止されています。
- 本機は除雪以外の目的で使用しないでください。
- ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分にご理解ください。
- 上記の注意事項に従わなかったことによる損害や怪我については、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証サービスも適用外となりますのでご注意ください。



お買い上げいただき、ありがとうございます。

- 本取扱説明書は、WTS0930C 除雪機の操作と保守に関する情報を含んでおります。記載内容は印刷承認時点で入手可能な最新の除雪機情報に基づいています。
- 当社は予告なしに内容を変更する権利を有しており、その結果生じる義務を負いません。
- 本取扱説明書のいかなる部分も、書面による承諾なしに複製することはできません。
- 本取扱説明書は除雪機の一部とみなされ、機械販売時に提供されます。
- 実際の除雪機は、販売時の状態と異なる場合があります。ご購入の際は実機をご確認ください。
- 準拠規格：ISO 8437.1989+A1:1997 除雪機
- エンジン生産許可番号：XK06-002-00252

安全にご利用いただくために

- 除雪機の使用に関し、安全は、お客様と周囲の方々にとって非常に重要です。取扱説明書と機器本体に重要な安全情報を記載していますので、必ずお読みください。
- 取扱説明書では、危険の可能性を警告するため、「危険」「警告」「注意」の3種類のキーワードを使用しています。各安全情報の前に、これらのキーワードを「」で囲んで表示しています。

記号の意味に注意を払ってください。

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 危険 | 取扱説明書の指示に従わない場合、重大な怪我や死亡事故につながる可能性があります。 |
|  | 警告 | 取扱説明書の指示に従わない場合、機器の損傷や怪我を引き起こします。 |
|  | 注意 | 取扱説明書の指示に従わない場合、機器の損傷や怪我が発生する可能性があります。 |

損傷防止

以下のような「注意」マークの付いた重要な情報もございます。ご確認ください。

注意: 取扱説明書の指示に従わない場合、機器の損傷が発生します。

安全上のご注意



取扱説明書に従って除雪機を操作すれば、設計通りに安全かつ確実に動作します。
除雪機を操作する前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解ください。ご理解いただけませんと怪我や機器の損傷につながる可能性があります。

安全に関する注意事項

- ・使用前に、投雪シュートなどすべての部品が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・ガソリンは可燃性です。火災や爆発に注意してください。
- ・指定された燃料と潤滑油のみを使用し、清潔に保ってください。
- ・エンジン始動時は、ギアレバーをニュートラル位置にしてください。
- ・オーガーには注意してください。怪我をする恐れがあります。機械始動時にオーガーの上に乗ったり、前に立ったりすることは禁止されています。
- ・ギアを切り替える前に、必ずクラッチを切ってください(ギアレバーハンドルをニュートラル位置に置く)。怪我や機械の損傷を防ぐためです。
- ・アルコールや薬物の影響下、または疲労時や体調不良時には除雪機を使用しないでください。
- ・後進ギアは注意して使用してください。つまずいたり転倒したりしないよう気をつけてください。
- ・除雪開始時は、周辺の人、特に子供やペットを除雪機の作業エリアから遠ざけてください。

注：モデルは常に改良されているため、写真やイラストが実際の機械と異なる場合があります。

目次

安全指示と警告	03
除雪機の各部名称	08
仕様	10
同梱品リスト	11
組立	13
操作方法	19
メンテナンス	28
トラブルシューティング	31
輸送・保管・廃棄	33
技術データ	33

安全指示と警告

一般的な安全指示

1. 除雪機を正しく使用してください。誤った使用は怪我や死亡につながる可能性があります。本取扱説明書に記載された作業にのみ使用し、他の目的には使用しないでください。
2. 本取扱説明書の指示に従ってください。安全シンボルと安全指示を遵守してください。指示やシンボルに従わない場合、怪我、損傷、死亡の可能性があります。
3. 本取扱説明書を廃棄しないでください。組立、操作、除雪機の良好な状態維持に使用してください。付属品や付属部品の正しい取り付けに関する指示に従ってください。承認された付属品や部品のみを使用してください。
4. 損傷した除雪機を使用しないでください。メンテナンススケジュールに従ってください。本取扱説明書に記載されているメンテナンス作業のみを行ってください。その他のメンテナンス作業は承認されたサービスセンターが行う必要があります。
5. 本取扱説明書では、除雪機使用時に発生するすべての状況を網羅することはできません。注意を払い、常識的に使用してください。状況が不明確な場合は、除雪機の操作やメンテナンスを行わないでください。除雪機の専門家、販売店、サービス代理店、または承認されたサービスセンターに情報を問い合わせてください。
6. 除雪機の組立、保管、メンテナンスを行う前に、スパークプラグケーブルを外してください。
7. 初期の仕様から変更された除雪機は使用しないでください。製造元の承認なしに除雪機の一部を変更しないでください。製造元が承認した部品のみを使用してください。不適切なメンテナンスは怪我や死亡につながる可能性があります。
8. エンジンの排気ガスを吸入しないでください。エンジンの排気ガスを長期間吸入すると健康上のリスクがあります。
9. 室内や可燃物の近くで除雪機を始動しないでください。排気ガスは熱く、火花を含む可能性があります。火災の原因となる場合があります。十分な換気がない場合、窒息や一酸化炭素中毒により怪我や死亡の原因となる可能性があります。
10. 除雪機を使用する際、エンジンは電磁場を発生します。電磁場は医療用インプラントに損傷を与える可能性があります。除雪機を操作する前に、医師や医療用インプラントの製造元に相談してください。
11. 子供に除雪機を操作させないでください。取扱説明書の内容を理解していない人に除雪機を操作させないでください。
12. 身体能力や精神能力が低下した人に除雪機を操作させないでください。
13. 除雪機は子供や承認されていない人がアクセスできない平坦な場所に保管してください。壁などに立て掛けしないでください。
14. 除雪機は物を飛ばし、怪我の原因となる可能性があります。怪我や死亡のリスクを減らすために安全指示に従ってください。
15. エンジンが作動している間は、除雪機から離れないでください。
16. 事故が発生した場合、除雪機の操作者に責任があります。
17. 使用前点検、定期点検を必ず行ってください。後退する前や後退中は、転倒の原因となる可能性のある小さな子供、動物、その他の危険がないか、後ろや下を確認してください。

18. 除雪機を使用する前に、部品が損傷していないことを確認してください。詰まった雪を取り除くときは、雪かき棒(スノーバー)を使用してください。
19. 除雪機を使用する前に、他の人や動物から最低 15 メートル(50 フィート)離れていることを確認してください。近くにいる人に除雪機を使用することを知らせてください。
20. 国や地域の法律を確認してください。状況によっては、除雪機の使用が制限または禁止されている場合があります。

訓練

1. この機械を操作する前に、本体や取扱説明書に記載されているすべての指示を読み、理解し、従ってください。操作方法や適切な使用方法をよく理解してください。緊急時に機械を停止し、操作を解除する方法を知っておいてください。
2. 子供に機械を操作させないでください。
3. 適切な指導を受けていない大人に機械を操作させないでください。
4. 作業エリアに人、特に小さな子供がいないことを確認してください。
5. 転倒や滑落到意してください。特に除雪機を後進させるときは慎重に操作してください。

操作時の安全指示

1. 回転部品の近くや下に手や足を置かないでください。常に排出口から離れてください。
2. 砂利の敷かれた車道、歩道、道路の上や横断時は特に注意して操作してください。隠れた危険や交通に注意してください。
3. 異物にぶつかった場合は、エンジン(モーター)を停止し、スパークプラグからワイヤーを外し、電動モーターのコードを外し、製品に損傷がないか徹底的に点検し、再起動して操作する前に損傷を修理してください。
4. 製品が異常に振動し始めた場合は、エンジン(モーター)を停止し、すぐに原因を確認してください。振動は一般的にトラブルの警告です。
5. 操作位置を離れるとき、オーガーハウジングやシュートデフレクターの詰まりを取り除くとき、修理、調整、点検を行うときは、エンジン(モーター)を停止してください。
6. 製品の清掃、修理、点検時は、エンジンを停止し、オーガーとすべての可動部が停止していることを確認してください。スパークプラグワイヤーを外し、誤ってエンジンがかからないようにワイヤーをプラグから離してください。
7. エンジンの始動時や建物の出入りのための製品の移動時を除き、屋内でエンジンを動かさないでください。外部のドアを開けてください。排気ガスは危険です。
8. 傾斜面を横切って操作しないでください。屋根の上や急斜面では使用しないでください。
9. 適切なガードやその他の安全保護装置が所定の位置にあり、正常に機能していない状態で製品を操作しないでください。
10. シュートデフレクターを人や財産に損傷を与える可能性のある場所に向けしないでください。子供やその他の人を近づけないでください。
11. 雪を急いで取り除こうとして、製品の処理能力を超えないようにしてください。
12. 滑りやすい表面で高速で製品を操作しないでください。後方を確認し、後進時は注意して操作してください。

13. 製品の運搬時や使用しない時は、オーガーへの動力を切ってください。
14. 製造元が承認した付属品やアクセサリのみを使用してください（車輪ウェイト、カウンターウェイト、キャブなど）。
15. 視界や光が十分でない状態で製品を操作しないでください。常に足元を確認し、ハンドルをしっかりと握ってください。歩いてください。決して走らないでください。
16. 熱いエンジンやマフラーに触れないでください。

作業区域の安全

1. 機器を使用する区域を徹底的に点検し、ドアマット、そり、板、ワイヤー、その他の異物をすべて取り除いてください。
2. エンジン（モーター）を始動する前に、すべてのクラッチを解除し、ニュートラルにシフトしてください。
3. 適切な冬用衣服を着用せずに製品を操作しないでください。可動部に巻き込まれる可能性のある緩い衣服は避けてください。滑りやすい表面で足元を改善する履物を着用してください。
4. 燃料は注意して取り扱ってください。非常に可燃性が高いです。
 - a. 承認された燃料容器を使用してください。
 - b. 作動中のエンジンや熱いエンジンに燃料を追加しないでください。
 - c. 燃料タンクは屋外で細心の注意を払って給油してください。屋内で燃料タンクに給油しないでください。
 - d. プラスチックライナー付きの車両やトラック、トレーラーの荷台の中で容器に給油しないでください。給油前に必ず容器を地面に置き、車両から離してください。
 - e. 可能な場合、ガソリン動力の機器をトラックやトレーラーから降ろし、地面で給油してください。これが不可能な場合は、ガソリンディスベンサーノズルからではなく、ポータブル容器からトレーラー上の機器に給油してください。
 - f. 給油が完了するまで、ノズルを燃料タンクまたは容器の開口部の縁に常に接触させてください。ノズルロックオープン装置を使用しないでください。
 - g. ガソリンキャップをしっかりと取り付け、こぼれた燃料を拭き取ってください。
 - h. 燃料が衣服にこぼれた場合は、直ちに衣服を着替えてください。
5. 電動モーターまたは電動始動モーター付きのすべてのユニットについて、製造元が指定する延長コードとコンセントを使用してください。
6. 砂利や碎石の表面をきれいにするため、オーガーハウジングの高さを調整してください。
7. エンジン（モーター）の作動中は、調整を試みないでください（製造元が特に推奨する場合を除く）。
8. 操作中や調整、修理を行う際は、常に安全メガネまたは保護眼鏡を着用し、機械から飛び散る可能性のある異物から目を保護してください。

個人用保護具

製品を操作する際は、常に適切な個人用保護具を使用してください。これには最低限、丈夫な履物、目の保護具、聴覚保護具が含まれます。個人用保護具は怪我のリスクを取り除くものではありませんが、事故が発生した場合に怪我の程度を軽減する可能性があります。

1. 製品の操作中やメンテナンス、修理を行う際は、常に安全メガネまたは保護眼鏡を着用してください。
2. 製品を操作する際は、常に適切な冬用衣服を着用してください。
3. 製品を操作する際は、常に足首のサポートが良好で、滑りにくい頑丈なブーツを使用してください。

4. 動く部分に巻き込まれる可能性のある、ゆったりとした服は着用しないでください。
5. 必要に応じて、認可された保護手袋を使用してください。例えば、ブレードの取り付け、点検、清掃時などです。
6. 製品を操作する際は、常に認可された耳栓を使用してください。長期間の騒音は、騒音性難聴の原因となる可能性があります。

製品の安全装置

1. 製品の定期的なメンテナンスを必ず行ってください。
 - a. 製品の寿命が延びます。
 - b. 事故のリスクが減少します。認可された販売店または認可されたサービスセンターに定期的に製品を点検してもらい、調整や修理を行ってください。
2. 保護装置が損傷した製品は使用しないでください。製品が損傷している場合は、認可されたサービスセンターに相談してください。

マフラーの安全性

マフラーは騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを作業者から遠ざけます。マフラーが欠けている、または欠陥がある場合は、製品を使用しないでください。欠陥のあるマフラーは騒音レベルと火災のリスクを高めます。マフラーが正しく取り付けられており、損傷していないことを確認するため、定期的に点検してください。

▲ 注意

マフラーは使用中および使用後、そしてエンジンがアイドリング状態で動作しているときに非常に熱くなります。火災を防ぐため、可燃物の近くでは注意してください。

燃料の安全性

▲ 警告

製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

1. 製品に燃料やエンジンオイルが付着している場合は、製品を始動しないでください。不要な燃料を取り除き、製品を乾かしてください。
2. 衣服に燃料をこぼした場合は、直ちに衣服を着替えてください。
3. 燃料を体に付着させないでください。怪我の原因となる可能性があります。体に燃料が付着した場合は、石鹸と水で燃料を取り除いてください。
4. エンジンに漏れがある場合は、製品を始動しないでください。定期的にエンジンの漏れを点検してください。
5. 燃料の取り扱いには注意してください。燃料は可燃性であり、その蒸気は爆発性があり、怪我や死亡の原因となる可能性があります。
6. 燃料の蒸気を吸い込まないでください。怪我の原因となる可能性があります。十分な換気があることを確認してください。
7. 燃料やエンジンの近くでタバコを吸わないでください。
8. 燃料やエンジンの近くに温かい物を置かないでください。
9. エンジンが動いているときは燃料を追加しないでください。
10. 給油する前に、エンジンが冷えていることを確認してください。
11. 給油する前に、燃料タンクのキャップをゆっくりと開け、慎重に圧力を解放してください。

12. 屋内でエンジンに燃料を追加しないでください。換気が不十分な場合、窒息や一酸化炭素中毒により、怪我や死亡の原因となる可能性があります。
13. 燃料タンクのキャップをしっかりと締めてください。燃料タンクのキャップが締まっていない場合、火災のリスクがあります。
14. タンクに給油した位置から最低3m離れた場所に製品を移動してから始動してください。
15. 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。

メンテナンスの安全指示

⚠ 警告

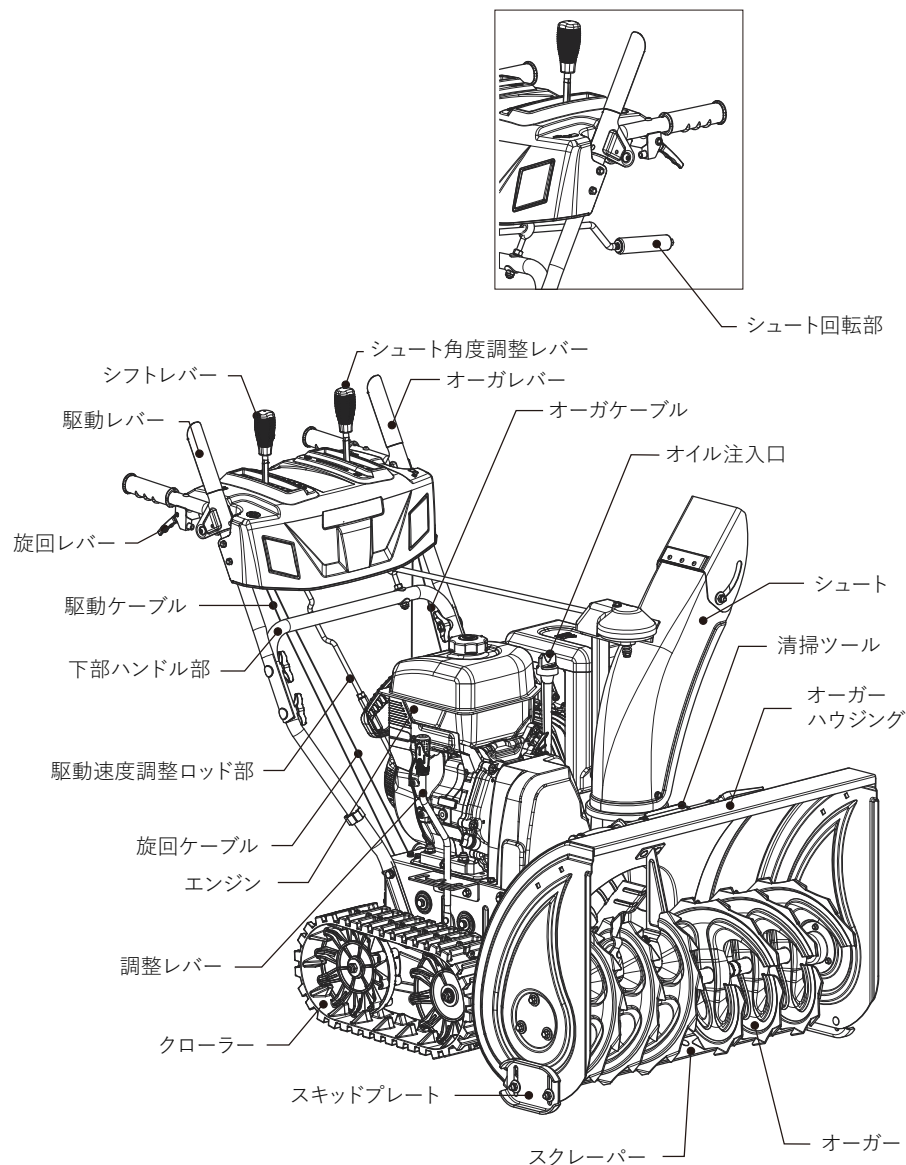
製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

1. エンジンの排気ガスには一酸化炭素が含まれており、これは無臭で有毒かつ非常に危険なガスです。屋内や密閉された空間でエンジンを始動しないでください。
2. 製品のメンテナンスを行う前に、エンジンを停止し、点火ケーブルをスパークプラグから取り外してください。
3. ブレードのメンテナンスを行う際は、保護手袋を使用してください。ブレードは非常に鋭く、簡単に切傷を負う可能性があります。
4. 製造元が承認していない付属品や製品の変更は、重大な怪我や死亡の原因となる可能性があります。製品を改造しないでください。常に製造元が承認した付属品を使用してください。
5. メンテナンスが正しくかつ定期的に行われなかった場合、怪我や製品の損傷のリスクが高まります。
6. この取扱説明書に記載されているメンテナンスのみを行ってください。その他のすべての整備は、認可されたサービス代理店が行う必要があります。
7. 認可されたサービス代理店に製品の定期的な整備を依頼してください。損傷した、摩耗した、または破損した部品は交換してください。

除雪機を知る

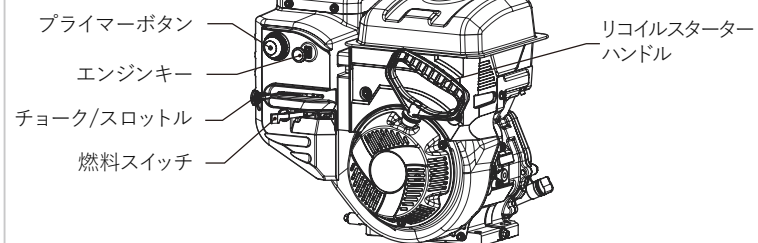
工具の目的

除雪機を使用すると、素早く効率的に雪を取り除くことができます。以下の図を参照して、除雪機のすべての部品と操作部に慣れてください。これらの構成部品については、後ほど組立および操作手順で言及します。



エンジン操作部の詳細

W300FS/P



使用

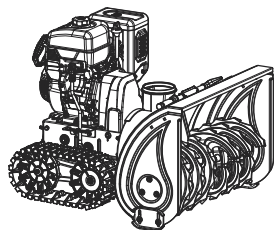
モデル	WTS0930C
タイプ	二段式
エンジンモデル	W300FS/P
始動方式	リコイル
排気量 (cc)	302
最大出力 (kW/回転数)	6.3/3600
最大トルク (N.m/回転数)	18.5/2800
燃料タンク容量 (L)	4.5
オイル容量 (L)	0.95
除雪幅 (インチ)	30
吸込高さ (インチ)	21
最大投雪距離 (フィート)	40
オーガ直径 (インチ)	12
インペラ直径 (インチ)	12
オーガ材質	鋼
インペラ材質	鋼
インペラブレード数	7
オーガギアケース材質	アルミニウム
スキッドシューズ材質	鋼
シュート材質	鋼
シュート操作	クランク
シュート回転	190° 回転 ダッシュマウントクランクレバー
シュートディフレクター材質	鋼
シュートディフレクター操作	インダッシュリモコン
駆動方式	自走式
ドライブタイプ	摩擦ディスク式
操作パネル	鉄パネル
前進速度	6段
後退速度	2段
クローラー	60x18x118
片手操作	オプション
ハンドルヒーター	オプション
ヘッドライト	オプション
デュアルトリガーステアリング	標準
保管カバー	該当なし
認証	Euro V
全体寸法 (mm)	1365x805x1120
梱包寸法 (mm)	940x780x850

▲ 注意

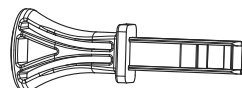
一部の名称・数値は改良のため変更される場合があります。
参考情報であり、確定情報ではありません。

梱包リスト

事前組立品

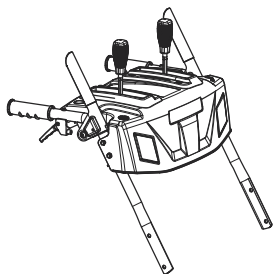


除雪機×1

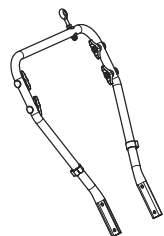


エンジンキー×1

操作部品

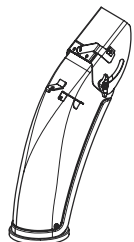


上部ハンドル部×1



下部ハンドル部×1

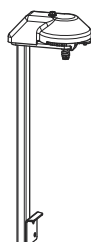
シュート部品



シュートデフレクター×1



シュートスプリング×1



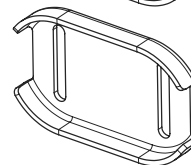
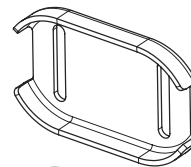
補強ブラケット×1

シュート回転部品



シュート回転部×1

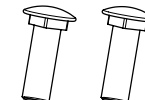
スキッドプレート部品



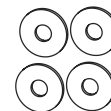
スキッドプレート×2



M8×20ボルト ×2



M8×25ボルト ×2

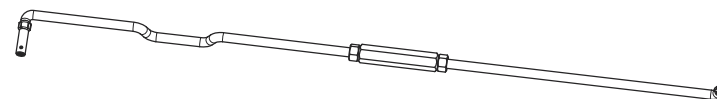


大型ワッシャー×2



大型ワッシャー×2

駆動速度調整ロッド部品



ロッド×1



8mmワッシャー×2

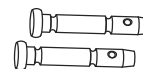


平面割りピン×2



スプリング×1

予備部品



せん断ピン×2

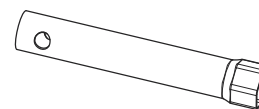


ボウタイクリップ×2

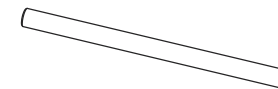


平面割りピン×2

工具



スパークプラグレンチ×1



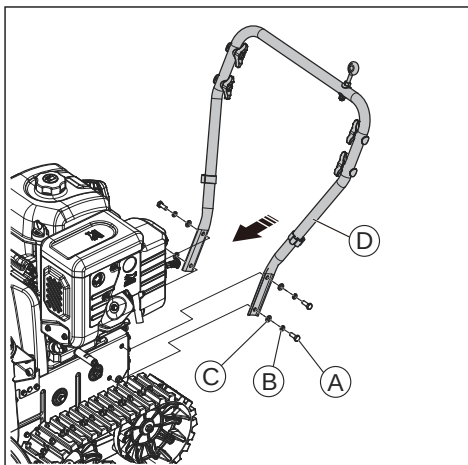
スパークプラグレンチハンドル×1

組み立て

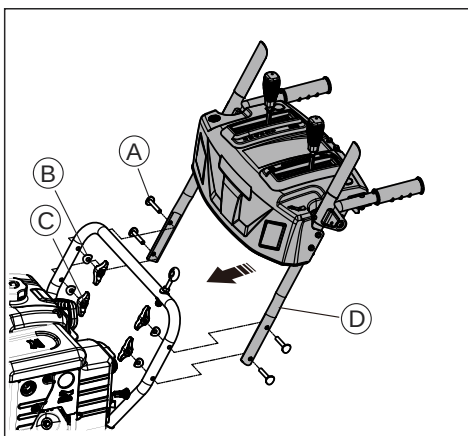
▲ 警告

説明書に従って完全に組み立てるまで、製品の電源を入れたり、コンセントに差し込んだりしないでください。以下の製品の取り扱いと調整に関する手順をよく読み、理解してください。安全上の注意事項を守らないと、重大な人身事故につながる恐れがあります。

取っ手の取り付け方



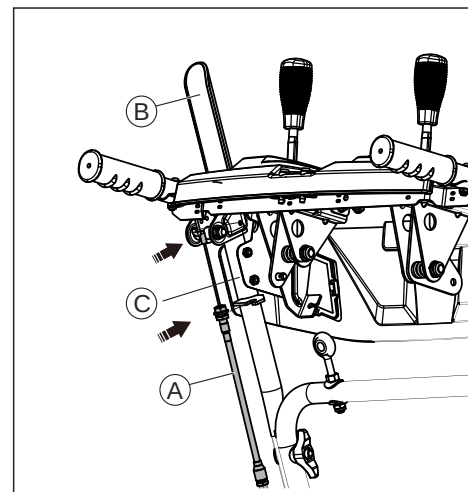
1. ケースから 4 本の M8×25 フランジボルト (A) を取り外します。
2. 4 本の M8×25 フランジボルト (A)、4 個のスプリングスペーサー (B)、4 個の平ワッシャー (C) を用意します。
3. 下部ハンドル (D) をケースの両側にある 2 つの穴に取り付けます。



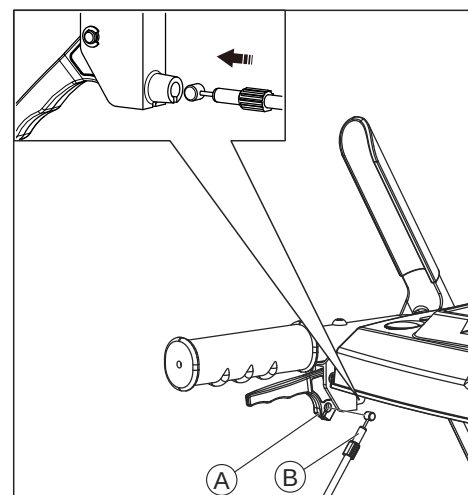
▲ 注意

上部ハンドルを下部ハンドルに取り付けるには、下部ハンドルにあらかじめ取り付けられているノブを使用する必要があります。

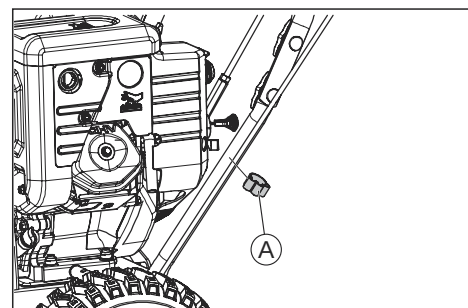
4. 3 本の M8×50 ハンドルロックボルト (A)、3 個のスペーサー (B)、3 個のハンドルノブ (C) を用意します。
5. コントロールパネル付きの上部ハンドル (D) を下部ハンドルに取り付けます。



6. オーガーケーブルとドライブケーブル (A) の先端を、左右のハンドル (B) の穴に挿入します。
7. オーガーケーブルとドライブケーブル (A) のネジ部分を、左右のハンドルのパネル (C) に取り付けます。
8. ナットで固定します。

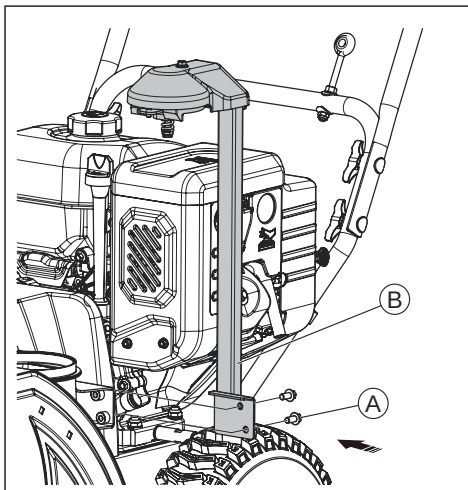


9. 両側の方向転換ケーブルの丸い先端 (B) を、方向転換ハンドル (A) の穴に挿入します。
10. 両側の方向転換ケーブル (B) を、方向転換ハンドル前面の円柱状の穴に挿入します。

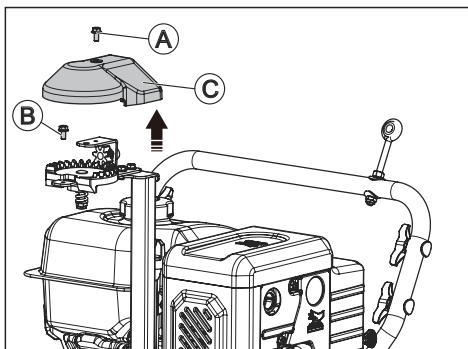


11. フープ (A) を使用して、左右のハンドルにケーブルを固定します。

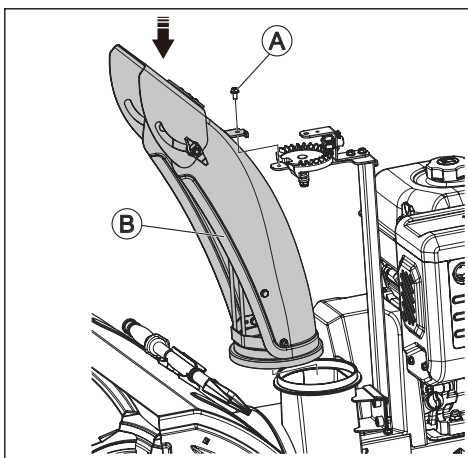
シュートデフレクターの組み立て方



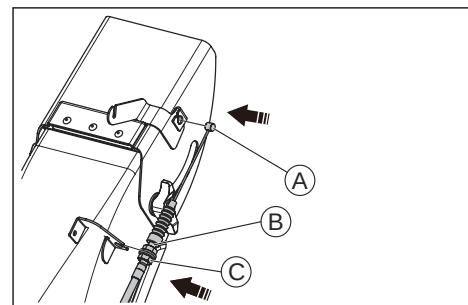
1. 機械から2本のM8×16六角フランジボルト(A)を取り外します。
2. 2本のM8×16六角フランジボルト(A)を使用して、補強ブラケット(B)をオーガーハウジングに取り付けます。



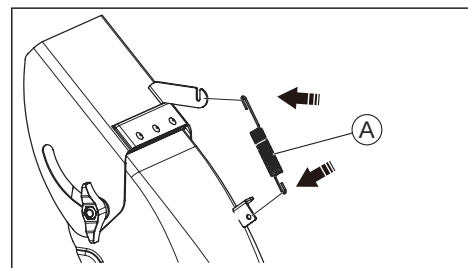
3. 補強ブラケットから、装飾カバー(C)、1本のM6×12六角フランジボルト(A)、1本のM8×16六角フランジボルト(B)を取り外します。



4. シュートデフレクターを機械に取り付けます。
5. 1本のM8×16六角フランジボルト(A)を使用して、シュートデフレクターを固定します。

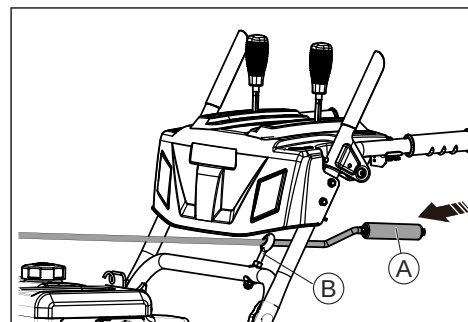


6. ケーブルの上部シリンダー(A)を穴に挿入します。
7. ケーブルのネジ部分(B)をスロットに入れ、M8ナット(C)で締めます。

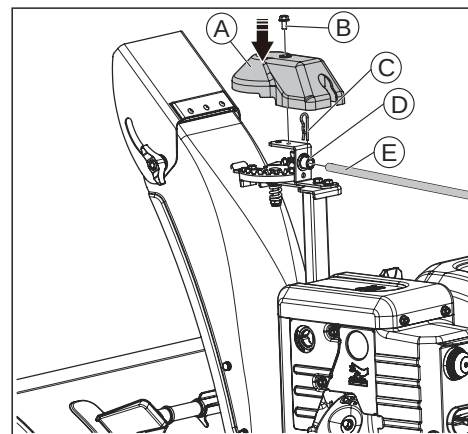


8. 雪出口用延長スプリング(A)の長い方の端を上部のスロットに、短い方の端を下部の穴に取り付けます。

シュートローテーターの組み立て方

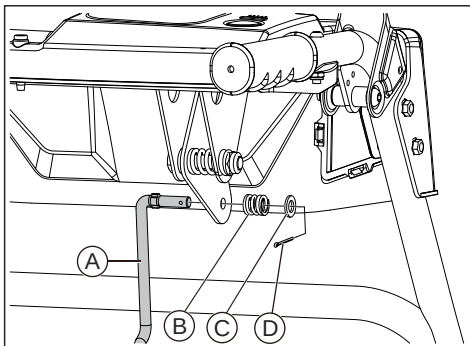


1. シュートローテーター(A)を固定ロッド(B)のゴムブッシュに通します。
2. シュートローテーター(E)をステアリングギア(D)の穴に取り付け、ピン(C)を挿入します。

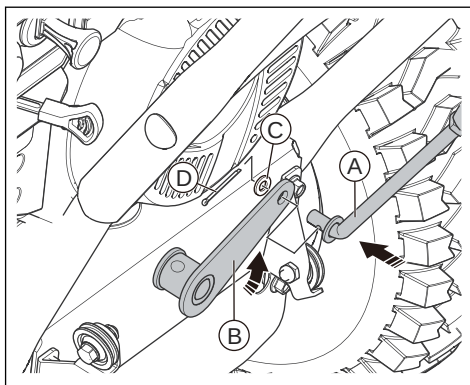


3. 装飾カバー(A)を取り付け、1本のM6×12六角フランジボルト(B)で固定します。

ドライブ速度制御ロッドの組み立て方

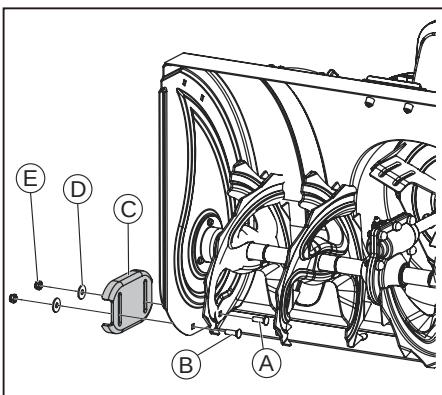


1. ドライブ速度制御ロッド (A) の長い曲がった端をコントロールパネルに取り付け、1 個の接続ロッドスプリング (B)、1 個の平ワッシャー (C)、1 個のコッターピン (D) で固定します。



2. シフト接続プレート (B) を引き上げ、ドライブ速度制御ロッド (A) の短い曲がった端を取り付けます。ドライブ速度制御ロッド (A) を 1 個の平ワッシャー (C) と 1 個のコッターピン (D) で固定します。

スキッドプレートの組み立て方

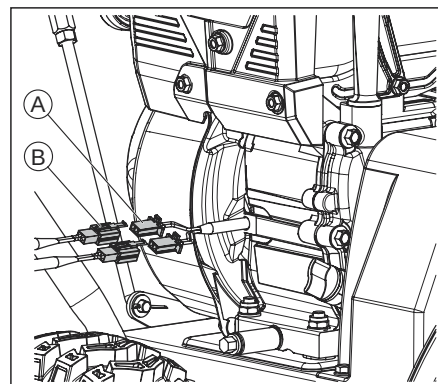


1. スキッドプレートの部品から、2 本の M8×25 ボルト (A)、2 本の M8×20 ボルト (B)、4 個の大型ワッシャー (D)、4 個のロックナット (E) を取り外します。
2. これらの部品を使用して、スライドプレート (C) をオーガーハウジングの両側にある 2 つの穴に取り付けます。

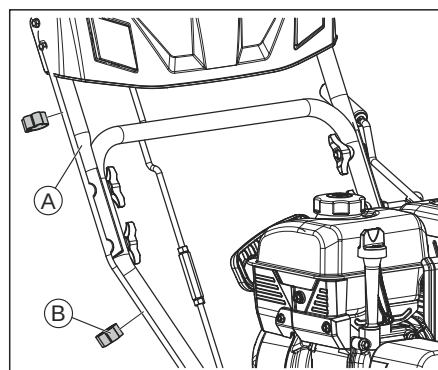
配線の組み立て方(装備されている場合)

▲ 注意

製品に LED ライトと加熱ハンドルが装備されている場合は、以下の組み立て手順に進んでください。



1. LED ライトと加熱ハンドルのケーブルプラグ (B) を、エンジン出力ケーブルプラグ (A) に接続します。



2. フープ (B) を使用して、LED ライトと加熱ハンドルのケーブルをアームレスト組立部 (A) に固定します。

操作

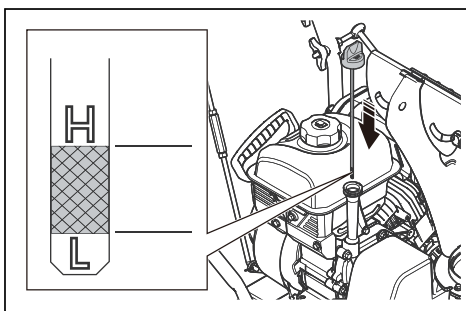
製品を始動する前に

1. 作業エリアから人や動物を遠ざけてください。
2. 日常のメンテナンスを行ってください。28ページのメンテナンススケジュールを参照してください。
3. 点火リードがスパークプラグに正しく取り付けられていることを確認してください。
4. 必要に応じて、オイルやガソリンを追加してください。33ページの技術データを参照してください。

エンジンオイルを補充する

▲ 注意

オイルを点検する際は、ディップスティックを回さないでください。マークを超えて給油しないでください。



1. オイルキャップを外し、ディップスティックを清掃します。
2. ディップスティックの上部マークまでオイルを追加します。定期的にディップスティックを使用してオイル量を確認してください。
3. オイルキャップを元に戻します。

エンジンオイルの規格

- SAE 30 (0°C以上の場合)
- SAE 10W30 (0°C以上の場合)
- SAE 5W30 (0°C以下の場合)

燃料の給油方法

可能な場合は、低排出 / アルキレート燃料を使用してください。低排出 / アルキレート燃料が入手できない場合は、良質の無鉛ガソリンまたは有鉛ガソリンを使用してください。

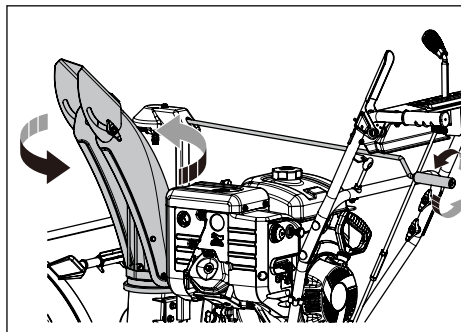
▲ 注意

オクタン価90RON未満のガソリンは使用しないでください。製品が損傷する可能性があります。

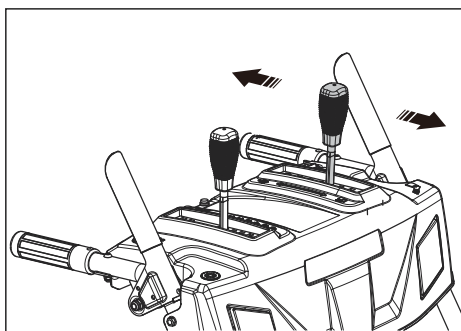
1. 燃料タンクキャップをゆっくり開け、圧力を解放します。
2. 燃料缶でゆっくり給油します。燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、残った燃料を乾かしてください。
3. 燃料タンクキャップの周囲を清掃します。
4. 燃料タンクキャップをしっかり締めます。燃料タンクキャップが締まっていないと、火災の危険があります。
5. 給油した位置から最低 3m 離れた場所に製品を移動してから、始動してください。

シュートデフレクターの調整方法

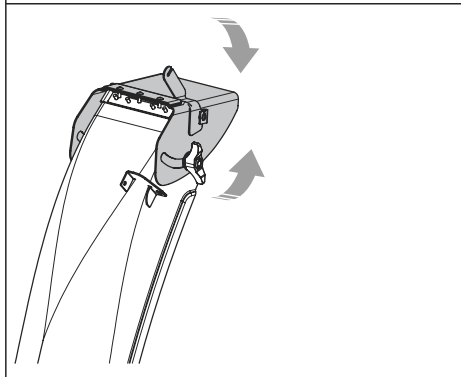
雪を投げる方向は、左側のハンドルに取り付けられているシュートローターコントロールで制御します。



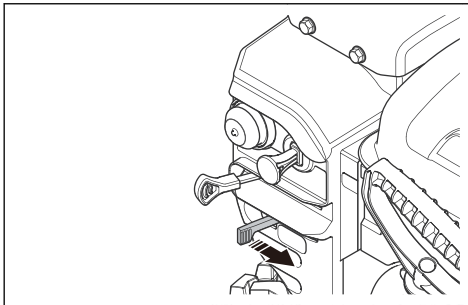
1. シュートローターコントロールを回して、雪を投げる回転方向を設定します。
2. シュートローターコントロールを時計回りに回すと、雪を右方向に投げます。
3. シュートローターコントロールを反時計回りに回すと、雪を左方向に投げます。



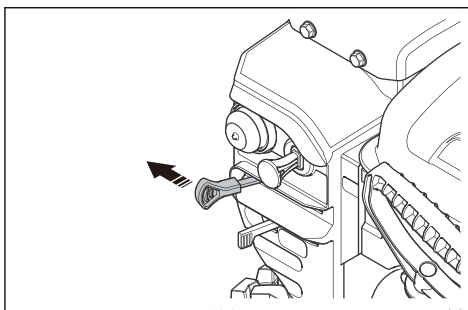
4. 角度デフレクターを上下に動かして、雪を投げる距離を調整します。



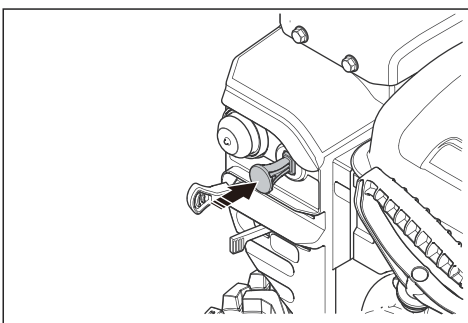
エンジンの始動方法



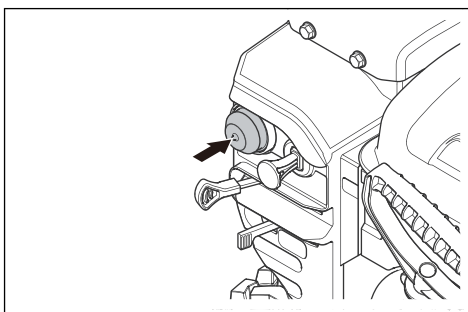
1. ドライブエンゲージメントを解除します。ドライブ速度制御レバーを 1 速の位置に合わせます。
2. 燃料スイッチを ON の位置に回します。



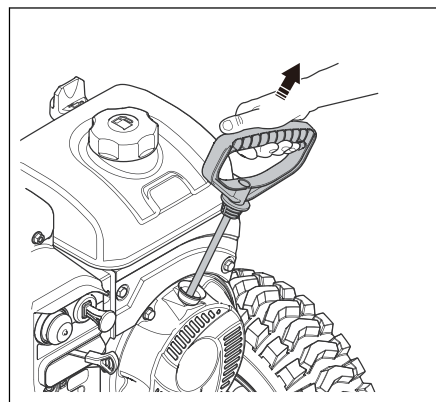
3. チョークを CLOSE (閉) の位置に回します。



4. エンジンキーを RUN (運転) の位置まで押し込みます。



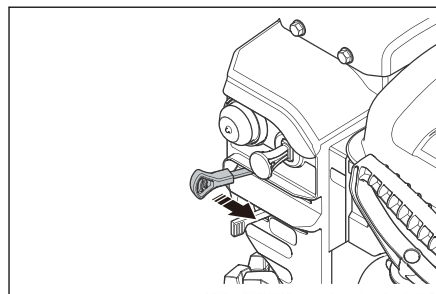
5. プライマーを 1~3 回押して、ブースターポンプを始動させます。低温時の冷間始動には、ブースターポンプを使用してください。



⚠ 注意

リコイルスターターハンドルを急に離さないでください。ゆっくりと始動位置に戻してください。

6. リコイルスターターハンドルを引きます。リコイルスターターハンドルが凍結している場合は、スターターからできるだけ多くのロープをゆっくりと引き出し、リコイルスターターハンドルを離します。エンジンが始動しない場合は、この手順を繰り返すか、電動スターターを使用してください。



7. 雪を投げ始める前に、エンジンを 30~40 秒間アイドリング速度で運転します。
8. エンジンが暖まったら、チョークをゆっくりと OPEN (開) の位置に動かします。

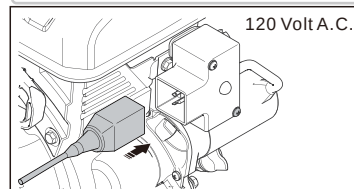
電動スタート(装備されている場合)

⚠ 警告

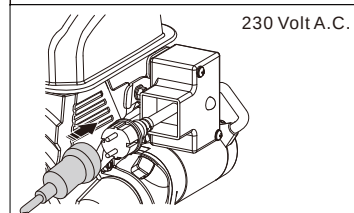
本製品には120ボルトA.C.または230ボルトA.C.の電動スターターが搭載されています。お使いの家庭が銘板に記載された仕様を満たす3線式アース付きシステムであることを確認してください。不確かな場合は、資格を持つ電気技術者に相談してください。

⚠ 注意

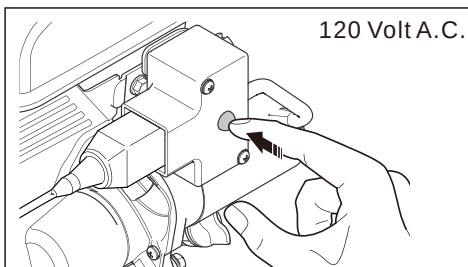
屋外使用に推奨。15 mを超えない延長コードを使用してください。



1. 「エンジンの始動方法」の 1~5 の操作を行います。

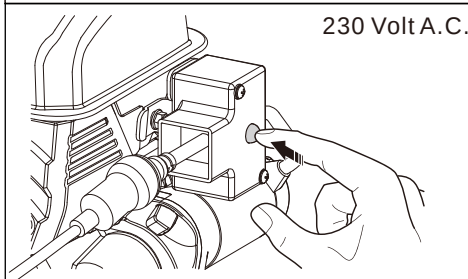


2. 製品を電源に接続します。



120 Volt A.C.

3. コントロールボックスのスタートボタンを5秒間押し続けます。

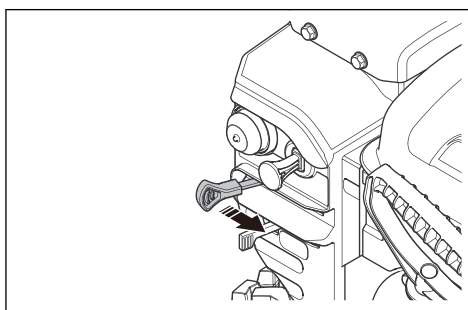


230 Volt A.C.

4. エンジンが始動しない場合は、5秒待ってからスタートボタンを再度押してください。

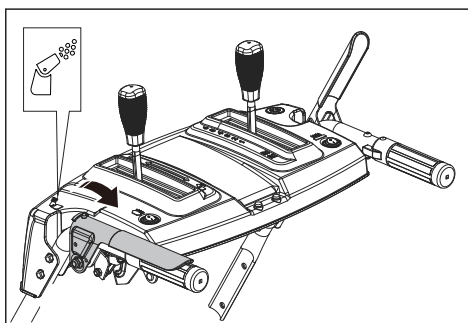
▲ 注意

エンジンの始動を10回以上試みないでください。
10回試みた後は、40分待ってから再度試してください。

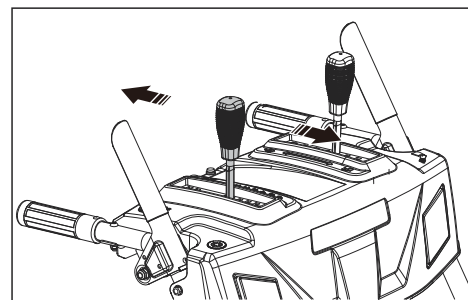


5. 雪を投げ始める前に、エンジンを30～40秒間アイドリング速度で運転します。
6. エンジンが暖まったら、チョークをゆっくりとOPEN(開)の位置に動かします。

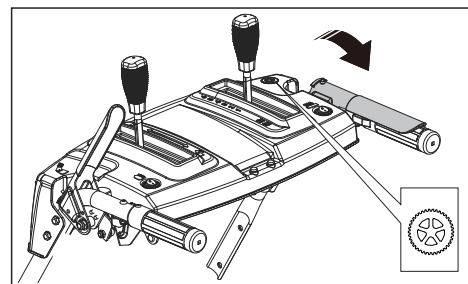
除雪機の操作方法



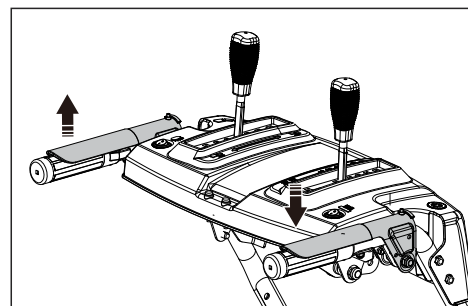
1. オーガーエンゲージメントをハンドルに向かって握り、オーガーを動作させて雪を投げます。



2. ドライブ速度制御レバーを左に動かすと、製品が前進します。ドライブ速度制御レバーを右に動かすと、製品が後退します。
3. 6速ドライブの製品は、6段階の前進速度と2段階の後退速度があります。



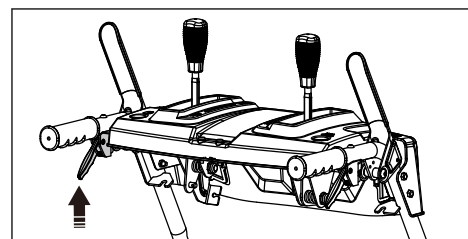
4. 右ハンドルでドライブエンゲージメントを操作します。
5. ドライブエンゲージメントをハンドルに向かって握り、駆動輪を作動させます。ドライブ速度制御レバーの位置に応じて、製品が前進または後退します。



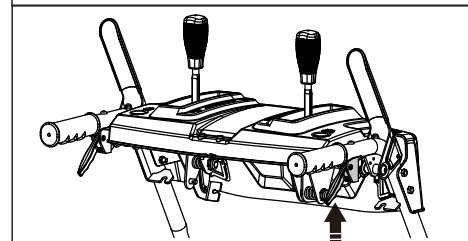
▲ 注意

片手操作機能を備えている場合は、以下の手順に進んでください。

6. 左右のハンドルを押した後、攪拌ケージのクラッチハンドルを解放することができます。機械全体が同時に走行と除雪を行うことができます。



7. 左側の方向転換ハンドルを上を押すと、除雪機が左に旋回します。

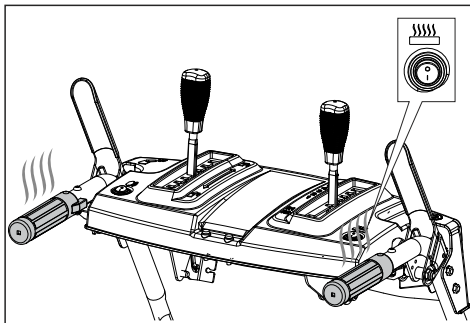


8. 右側の方向転換ハンドルを上を押すと、除雪機が右に旋回します。

ヒーターハンドルの操作方法(装備済みの場合)

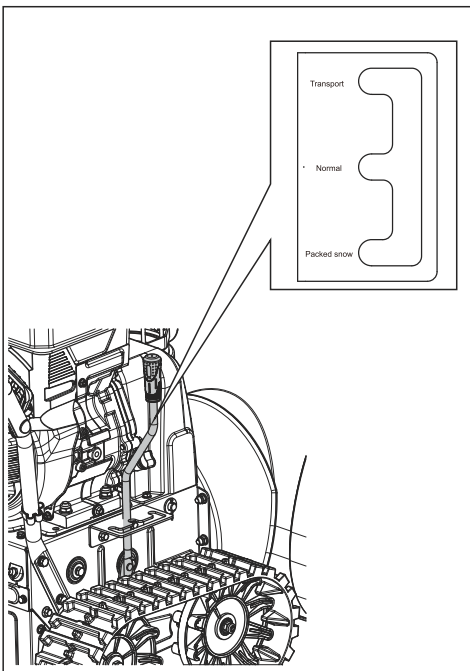
▲ 注意

エンジン作動中は、ヒーターハンドルを通常通り使用できます。



1. エンジン始動後、「-」アイコンキーを押すとヒーターハンドルが加熱を開始します。「0」アイコンキーを押すとヒーターハンドルの加熱が停止します。

オーガーハウジングの操作方法

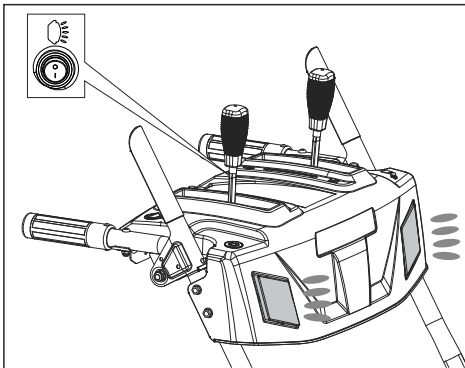


1. シフトレバーを「Transport(移動)」位置に動かすと、ハウジングが地面から離れます。
2. シフトレバーを「Normal(通常)」位置に動かすと、ハウジングを上下に動かせます。
3. シフトレバーを「Packed snow(圧雪)」位置に動かすと、ハウジングが地面と接触します。

LEDライトの操作方法(装備済みの場合)

▲ 注意

エンジン作動中は、LEDライトを通常通り使用できます。

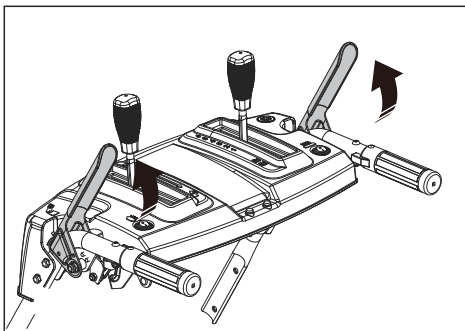


1. エンジン始動後、「-」アイコンキーを押すとランプが点灯し、「0」アイコンキーを押すとランプが消灯します。

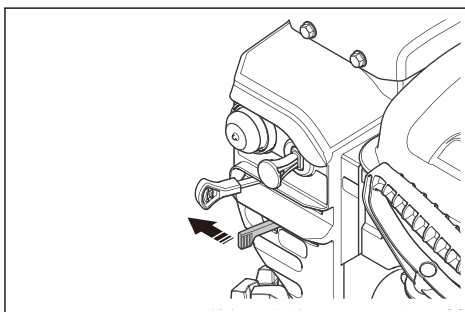
除雪機の停止方法

▲ 注意

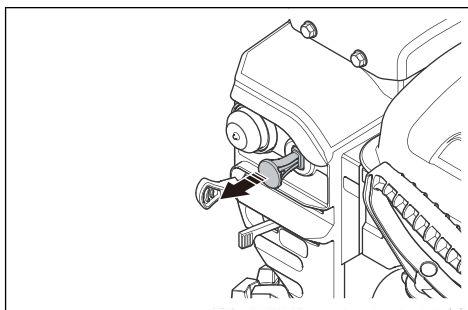
緊急時にエンジンを停止するには、ON/OFF キーを引き抜いてください。



1. ドライブ操作レバーを解除して、駆動輪を停止させます。
2. オーガー操作レバーを解除して、オーガーを停止し、雪の放出を止めます。



3. 燃料スイッチを OFF の位置に回します。



4. オン / オフキーをオフにするか、オン / オフキーを引き抜いてください。

良好な結果を得るために

1. エンジンには常にフルスロットルまたはそれに近い状態で運転してください。
2. 常に雪の状況に合わせて製品の色を調整し、走行速度制御レバーで速度を調整してください。製品が雪を均等に投雪していることを確認してください。
3. 雪が降った直後に除雪するのが最も簡単で効率的です。
4. 可能な限り、風下に向かって雪を投雪してください。
5. アスファルト道路などの平らな表面では、スクレーパーバーを地面から 5-6mm (0.2-0.25 インチ) 程度持ち上げてください。
6. 砂利道などの凸凹した表面では、スクレーパーバーを砂利の上部よりもわずかに持ち上げてください。砂利や石が製品に入り込まないようにしてください。これらの異物が高速で飛び出すと、人身事故の原因となります。
7. シュートデフレクターが詰まっている場合は、解除しないでください。
8. 予期せぬ状況で製品が前進しない場合は、直ちに走行クラッチを解除するか、オン / オフキーを OFF の位置に引き抜いてください。

メンテナンス

メンテナンススケジュール

	毎日	20 時間	50 時間	100 時間	150 時間
ナットとねじの締め具合を確認する	○				
エンジンオイルの量を点検する	○				
オイル交換 ¹		○	○	○	
燃料やオイルの漏れがないか確認する	○				
オーガーに詰まりや異物がないか取り除く	○				
タイヤの空気圧を点検 ²			○		
点火プラグの点検と交換				○	

1. オイル交換は最初の 20 時間後、50 時間後、100 時間後、その後は 100 時間ごとに行ってください。
2. 適正なタイヤ空気圧については、33 ページの技術データを参照してください。

一般点検の実施方法

製品のナットとねじがしっかりと締まっていることを確認してください。

オイルレベルの点検方法

▲ 注意

オイルレベルが低すぎるとエンジンが損傷する可能性があります。製品を始動する前にオイルレベルを確認してください。

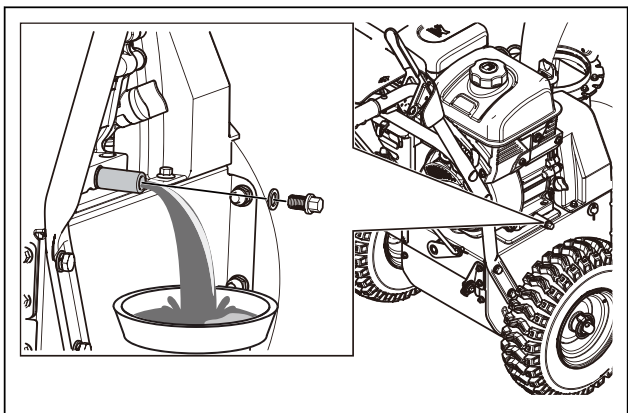
1. 製品を平らな地面に置きます。
2. 油量計付きのオイルタンクキャップを取り外します。
3. 油量計についたオイルを拭き取ります。
4. 油量計をオイルタンクに完全に挿入し、正確なオイルレベルを確認します。
5. 油量計を取り出します。
6. 油量計のオイルレベルを確認します。
7. オイルレベルが低い場合は、エンジンオイルを補充し、再度オイルレベルを確認します。

エンジンオイルの交換方法

▲ 注意

エンジンオイルは高温です。使用済みエンジンオイルが皮膚に触れないよう注意してください。

1. エンジンを数分間運転してオイルを温めます。温かいオイルの方が流れやすく、より多くの汚染物質を運びます。
2. 製品を平らな地面に置きます。
3. 燃料がなくなるまでエンジンを運転します。
4. イグニッションキーを抜きます。
5. オイル排出プラグの下に容器を置きます。
6. オイル排出プラグを取り外し、製品を後ろに傾けて使用済みオイルを容器に排出します。



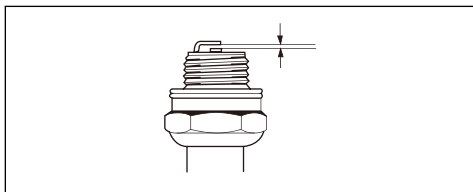
7. 製品を操作位置に戻します。
8. オイル排出プラグを取り付け、手でしっかりと締めます。
9. エンジンにオイルを補充します。19 ページの「エンジンにオイルを補充する方法」を参照してください。

スパークプラグの点検方法

▲ 注意

必ず推奨されるスパークプラグタイプを使用してください。
不適切なスパークプラグタイプを使用すると、製品が損傷する可能性があります。

1. エンジンの出力が低下している、始動が困難、またはアイドリング時に正常に動作しない場合は、スパークプラグを点検してください。
2. スパークプラグの電極に不要な物質が付着するリスクを減らすために、以下の指示に従ってください。
 - a. アイドリング速度が正しく調整されていることを確認します。
 - b. 燃料混合比が適切であることを確認します。
 - c. エアフィルターが清浄であることを確認します。
3. スパークプラグが汚れている場合は、清掃し、電極間隔が正しいことを確認してください。33 ページの技術データを参照してください。



4. 必要に応じてスパークプラグを交換してください。
5. 毎年使用前にスパークプラグを点検し、清掃してください。

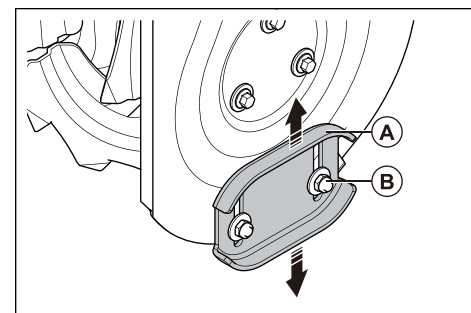
オーガーとスクレーパーの点検方法

1. 使用前に毎回、オーガーとスクレーパーの摩耗を点検してください。
2. オーガーまたはスクレーパーの端が摩耗している場合は、認定サービスセンターに連絡して交換してください。

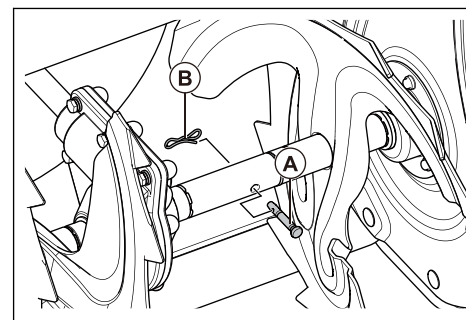
スキッドプレートの調整方法

通常の設置では調整は必要ありません。

1. ロックナット(B)が緩んでいる、またはスキッドプレート(A)が地面から十分に高くない場合は、ロックナット(B)を緩めます。
2. アスファルト道路などの平らな表面では、13mm のオープンエンドレンチを使用して、スキッドプレート(A)と地面の間の隙間を 5-6mm (0.2-0.25 インチ) に調整します。砂利道などの凸凹した表面では、スクレーパーバーを砂利の上部よりもわずかに持ち上げてください。砂利や石が製品に入り込まないようにしてください。これらの異物が高速で飛び出すと、人身事故の原因となります。
3. ロックナット(B)を締めます。



せん断ピンの交換方法



せん断ピンは製品の損傷を防ぐためのものです。異物が可動部に入り込むと破断します。

1. せん断ピンが破断した場合は、エンジンを停止してください。
2. 新しいせん断ピン(A)と新しいクランプスプリング(B)を取り付けます。

タイヤの点検方法

1. ゴムの損傷を防ぐため、タイヤに燃料、オイル、化学物質が付着しないようにしてください。
2. タイヤを切り株、石、轍、鋭利な物体、その他タイヤに損傷を与える可能性のある物から遠ざけてください。
3. タイヤの空気圧を適正に保ってください。33 ページの技術データを参照してください。

詰まったシュートデフレクター手入れ方法

1. オーガークラッチと走行クラッチを同時に解除します。
2. オーガーが停止したことを確認するため、10 秒間待ちます。
3. 付属のクリーンアウトツールを使用して詰まりを取り除きます。

▲ 警告

シュートデフレクターやオーガーハウジング内に手を入れないでください。

除雪機の清掃方法

1. プラスチック部品は清潔で乾いた布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機を使用して製品を洗浄しないでください。
3. モーターに直接水をかけないでください。
4. ブラシを使用して、葉、草、汚れを取り除いてください

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
除雪機が始動しない	安全キーが挿入されていない。	安全キーを挿入してください。
	燃料切れ。	新しい清浄なガソリンを燃料タンクに補給してください。
	ON/OFFキーがOFFの位置にある。	ON/OFFキーをONの位置に動かしてください。
	チョークがOFF(閉)の位置にある。	チョークをON(全開)の位置に動かしてください。
	プライマーが押されていない。	プライマーを押してください。
	エンジンがかぶっている。	再始動する前に数分待ってください。プライマーは押さない。
		スロットルとチョークをOFF(閉)の位置にしてエンジンを再始動。
	点火プラグワイヤーが接続されていない。	ワイヤーを点火プラグに接続してください。
	点火プラグの不良。	点火プラグを交換してください。
	燃料内に水が混入しているか、燃料が古くなっている。	燃料タンクとキャブレターを空にしてください。新しいガソリンを燃料タンクに補給してください。
	燃料ラインに気泡がたまっている。	タンクの出口より下に全ての燃料ラインがあることを確認してください。
	その他の原因。	本マニュアルの始動手順を確認してください。
	燃料スイッチ(装備済みの場合)がCLOSE(OFF)の位置にある。	燃料スイッチをOPEN(ON)の位置に回してください。
出力低下	スロットルがSTOPの位置にある。	スロットルをFASTの位置に動かしてください。
	点火プラグワイヤーが接続されていない。	ワイヤーを点火プラグに接続してください。
	雪を投げすぎている。	速度と除雪幅を減らしてください。
	燃料タンクキャップに氷や雪が付着している。	燃料タンクキャップの上や周囲の氷や雪を取り除いてください。
	マフラーが汚れているか詰まっている。	マフラーを清掃するか交換してください。
	ケーブルの長さが不適切。	ケーブルを調整してください。

問題	考えられる原因	解決方法
出力低下	マフラーが詰まっている。	エンジンが冷めていることを確認し、詰まりを取り除いてください。
	キャブレターのエアインテークが詰まっている。	エンジンが冷めていることを確認し、詰まりを取り除いてください。
エンジンがアイドリング状態になるか不安定に動作する	チョークがON(全開)の位置にある。	チョークをOFF(閉)の位置に動かしてください。
	燃料ラインが詰まっている。	燃料ラインを清掃してください。
	燃料に水が混入しているか、燃料が古くなっている。	燃料タンクとキャブレターを空にしてください。 新しいガソリンを燃料タンクに補給してください。
	キャブレターの交換が必要。	サービスセンターに連絡してください。
	ベルトが伸びている。	オーガーのベルトを交換してください。
過剰な振動 / ハンドルの動き	部品の緩みがある。オーガーが損傷している。	全ての締め具を締め直してください。 損傷した部品を交換してください。
	ハンドルが正しい位置に設定されていない。	ハンドルが所定の位置にロックされていることを確認してください。
	調整レバーのナットが緩んでいる。	ハンドルがしっかりするまでナットを締めてください。
リコイルスターターハンドルが引きにくい	リコイルスターターハンドルが凍結している。	ロープをゆっくり引き出し、ハンドルを放します。始動しない場合は繰り返すか、電動スターターを使用してください。
	ロープが部品と干渉している。	リコイルロープがワイヤーやホースに接触していないことを確認してください。
走行速度の低下または雪の排出速度の低下	ベルトが滑っている。	ケーブルを調整してください。ベルトを調整してください。
	ベルトが摩耗している。	ベルトを点検 / 交換してください。
	ベルトがブリーから外れている。	ベルトを点検 / 再取り付けしてください。
	シュートデフレクターが詰まっている。	シュートデフレクターを清掃してください。
	異物がオーガーに詰まっている。	オーガーから破片や異物を取り除いてください。
	せん断ピンが破損している。	破損したせん断ピンを交換してください。
	トラック走行部品の間に過剰な雪や氷が蓄積している。	トラック走行部品の間から雪や氷の蓄積を取り除いてください。
	摩擦ドライブホイールが摩耗している。	サービスセンターに連絡してください。
	ドライブベルトの位置がずれている。	ドライブベルトを調整してください。
	排出デフレクターの位置がずれている。	排出デフレクターを調整してください。
ライトが点灯しない(装備済みの場合)	エンジンが動いていない	エンジンを始動してください。
	配線接続が緩んでいる。	エンジンとライトの配線接続を確認してください。
	LED が切れている。	LED ライトモジュールを交換してください。個々の LED は交換できません。

問題	考えられる原因	解決方法
シュートローターが動きにくい	シュートローター機構内に異物がある。	シュートローター機構の内部を清掃してください。
	ケーブルが曲がっているか損傷している。	ケーブルが曲がっていないか確認してください。損傷している場合は交換。
除雪機が片側に旋回する	タイヤの空気圧が均等でない。	タイヤの空気圧を調整し、空気を補充してください。
	片方の車輪でのみ駆動している。	タイヤロックピンを点検してください。
	ソリの調整が不均等。	スキッドプレートとソリを調整してください。
	スキッドプレートの調整が不均等。	スキッドプレートとソリを調整してください。

輸送、保管、廃棄

輸送と保管

1. 製品と燃料の保管および輸送時には、漏れや蒸気がないことを確認してください。電気機器やボイラーなどからの火花や裸火により火災が発生する可能性があります。
2. 燃料の保管と輸送には、必ず承認された容器を使用してください。
3. 製品を長期間保管する前に、燃料タンクを空にしてください。燃料は適切な廃棄場所で処分してください。
4. 輸送中は製品を安全に固定し、損傷や事故を防止してください。
5. 子供や許可されていない人が近づかないよう、製品を鍵のかかる場所に保管してください。
6. 製品は乾燥した霜の降らない場所に保管してください。

廃棄

1. 地域のリサイクル要件と適用される規制に従ってください。
2. エンジンオイルや燃料などのすべての化学物質は、サービスセンターまたは適切な廃棄場所で処分してください。
3. 製品が使用されなくなった場合は、リサイクル場所で廃棄してください。

技術データ

製品仕様	
ガソリン容量と種類	4.5L (1.19 U.S. ガロン) 無鉛レギュラー
オイル種類 (API SJ-SN)	SAE 30 (0°C以上の場合) SAE 10W30 (0°C以上の場合) SAE 5W30 (0°C以下の場合)
オイル容量	0.95L (37 oz)
スパークプラグ	F7RTC または同等のスパークプラグ
スパークプラグの電極ギャップ	0.7~0.8 mm

株式会社 唐沢農機サービス ノウキナビ事業部

〒389-0518 長野県東御市本海野1642
TEL. 0120-555-071 (平日 9:00-17:00)
FAX. 0268-63-7085
E-MAIL. info@noukinavi.com